

事業 優先順位		4	細事業：中学校給食運営事業					整理 番号		04	
目的		親子の絆づくり、食物アレルギーを持つ生徒や食事量などに応じることができるなど、家庭で作る弁当が持つ教育的意義を踏まえる一方で、家庭弁当を作れない場合に、成長期にある中学生にとって安全で栄養のバランスの取れた食事を提供することにより、食事や健康について考える能力を高めることができるようにすることを目的とする。									
目標		6中学校で給食を実施する(2校追加)。									
事業 実施主体		直 営	事業開始 年 度	平成23年度	根拠 法令	学校給食法4条					
事業費・財源			平成25年度	平成24年度	比 較	コスト情報・従事職員数			平成25年度	平成24年度	比 較
	事業費（決算額）(千円)		5,054	2,545	2,509		総コスト（千円）		7,799	6,275	1,524
	財源内訳	一般財源	5,054	2,545	2,509		内 訳	事業費	5,054	2,545	2,509
		国府支出金	0	0	0			人件費	2,745	3,730	-985
		地方債	0	0	0			公債費	0	0	0
		その他特定財源	0	0	0		一人あたり（円）		70	56	14
			0				世帯あたり（円）		165	133	32
			0				参 考	職員数（人）	0.36	0.47	-0.11
		0			再任用職員数（人）			0.00	0.00	0.00	
	今後の方向性		中学生が食事や健康について考える能力を高められるよう、食育だより等を通じて指導していく。また、家庭の弁当を用意できない場合に、給食弁当を安心して選んでもらえるよう、給食のPRを行う。								
評価	妥当性	効率性	有効性	対象者	中学生、教職員						
	A	B	B								



中学校給食（弁当受渡し）

細事業：中学校給食運営事業

家庭からお弁当を持参することができない場合に、成長期にある中学生にとって安全で栄養のバランスのとれた食事を提供し、食事や健康について考える能力を高めるため希望選択制給食を11月から2校を加え、計6校で実施するとともに、インターネットを利用して翌月の給食を24時間自宅で予約可能とした。

学校名	利用率
長野中	19.8%
西中	16.9%
東中	17.2%
加賀田中	17.8%
南花台中	23.8%
美加の台中	16.6%
合計	18.6%

